



1・3. 新園舎はカラフルな外観で風通しが良い 2. 笑顔で話す福田市長と園児たち 4. 園児たちによる竣工式記念合唱
5. 乳児・ほふく室は日当たりが良く、畳のスペースが設けられている 6. 新園舎開園を喜ぶ先生と園児たち

8月10日、新園舎の開園に伴い「岩国市立わかば保育園竣工式」が開催されました。わかば保育園は建物の老朽化や耐震性の脆弱さに伴い安心・安全な保育を行うため、同様の問題を抱えていたよねがわ保育園を統合する形で、建て替えられたものです。式典で福田良彦市長は新しい園舎で、たくさん友達を作って、思う存分遊んでほしいと期待の言葉を述べました。続いて子供たちは元気いっば

安心して預けられる保育園に 市政 PICK-UP

岩国市立わかば保育園竣工式

いに合唱し、開園の喜びを全身で表現していました。式典後、真新しい建物内を見た子供たちは「早く新しい保育園でみんなとお絵描きしたり、一緒に遊んだりしたい」と目を輝かせていました。市は今後も市民が安心して子供を産み育てることができるよう、質の高い保育環境を整備するとともに、子育てに必要な情報を発信し、子育てしやすい環境整備に努めていきます。園こども支援課 ☎(29)5077



新園舎完成を記念して、わかば保育園の園児たちが作成した展示



魚食に親しむきっかけに

8月24日、岩国市地方卸売市場で、「県内産の魚を使った料理講習会」が開催され、14人の市民が参加しました。

この料理講習会は、県内産の魚の消費拡大と魚食の普及を目的に岩国市地方卸売市場水産物取引協議会が実施したもので、参加者は県内産のアジなどを使い、魚のおろし方を学びました。

参加者は協議会の魚谷会長ほか3人の講師の指導のもと、鮮度が落ちないように手際よく魚をさばく方法や、カンパチなど



自分で魚をさばくことができれば、魚のアラやカマも汁物などに活用でき、調理の幅も広がる

県内産の魚を使った料理講習会

の大きな魚の頭を切り分けるときには目の際から包丁を入れると刃が入れやすいことなど、調理のこつなどの指導を受けた後、班に分かれて実習しました。

この日初めて刺身包丁を使う人や、日々の料理の復習のためなど、参加者はさまざまでしたが「毎日の食事に魚を取り入れる良いきっかけとなった」との声が聞かれました。

協議会は今後も、魚食に親しむ機会の提供に努めていきます。 圃生産流通課 ☎(32)7355



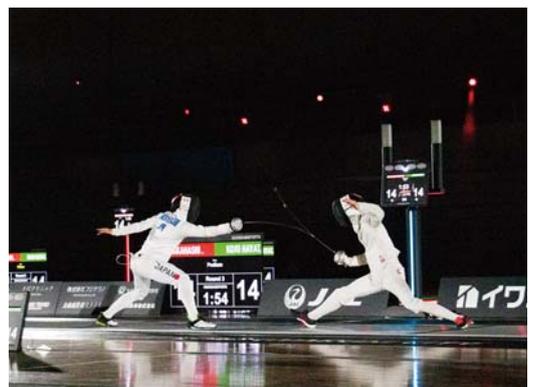
初めて使う刺身包丁で刺身の薄切りやアジの三枚おろしに挑戦した

8月27日と28日、岩国市総合体育館で「加納虹輝杯」が開催されました。東京五輪のフェンシング男子エペ団体で金メダルを獲得した岩国工業高校出身の加納虹輝選手の名を冠した大会は、今回が初の開催となります。大会には全国から集まった20歳以下の選手ら約300人が参加し、加納選手が見守る中、技を競い合いました。出場した選手は「加納選手のようにオリンピックで活躍できる選手になるため日々練習し、自分も金メダ

世界の技を岩国の地で



「第二のふるさとである岩国で大会が開催でき、大変うれしいです」と話す加納選手(右)



スポットライトの演出の中、ジュニア男子決勝で接戦を繰り広げる高橋未楽選手(左)と小城颯人選手(右)

2022加納虹輝杯ジュニア・カデ・エペ・ランキングマッチ開催

27日には、ともに日本代表の加納虹輝選手と山田優選手によるエキシビジョンマッチが行われ、世界トップレベルの技と熱い戦いに、観客から盛大な拍手が送られました。

市は今後も「我がまちスポーツ」であるフェンシング競技の普及とアスリートの育成に取り組んでいきます。

圃文化スポーツ課 ☎(29)5103